



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画本部長 兼 管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,812	5.5	2,381	4.2	2,224	6.6	1,915	25.1
2020年3月期第3四半期	37,893	2.3	2,284	133.5	2,087	122.4	1,531	692.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,937百万円 (28.4%) 2020年3月期第3四半期 1,508百万円 (976.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	40.07	
2020年3月期第3四半期	32.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	32,689	7,994	24.4	166.67
2020年3月期	32,514	6,056	18.5	126.15

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 7,967百万円 2020年3月期 6,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2021年3月期	0.00	0.00	0.00		
2021年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,127	6.5	1,840	34.0	1,610	37.9	1,199	35.2	25.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	48,919,396 株	2020年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,114,693 株	2020年3月期	1,114,443 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	47,804,903 株	2020年3月期3Q	47,805,182 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
部門別連結売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日~12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残る中、段階的に経済活動再開に向けた政策が講じられるなど、回復の兆しが見られるものの、未だ感染症の収束は見通せず、依然として厳しい状況で推移しております。

このような社会情勢において、当社グループでは感染拡大の防止を最優先としながら各事業を継続してまいりました。

売上高につきましては、SE事業部門においてFIT制度の改定を受け今期より自家消費向けの販売を開始しておりますが、前期好調であった土地付太陽光発電の施工の減少分を吸収できておらず前年同期比2,162百万円の減収となりました。また、新型コロナウイルス感染拡大により各事業部門の主に法人向け営業において取引先企業の経済活動全般の停滞等の影響を受けております。一方、個人向け営業においては営業活動の自粛による影響があったものの、この数年続けてきた企業・団体との提携の増加により、紹介からの顧客件数が増加したことで影響を軽減にすることができております。この結果、グループ全体の売上高は35,812百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

利益につきましては、SE事業部門において減益となりましたが、環境資源開発事業部門において増収に加え、苫小牧発電所が前期に定期修繕を行っていることから相対的に修繕費が減少したため増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、2,381百万円の営業利益(前年同期比4.2%増)、2,224百万円の経常利益(前年同期比6.6%増)、1,915百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比25.1%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

①SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門

SE事業部門は、FIT制度の改定を受け、前期好調に推移してございました土地付太陽光発電の施工が減少することを想定し、新たな市場を開拓する目的で今期より自家消費向けの販売を開始いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響等もあり計画通りに進んでおりません。そのため、小規模な案件の獲得に注力し、余剰案件の施工件数は前年同期比で131.5%増加いたしました。この結果、売上高は7,706百万円(前年同期比21.9%減)となりました。

営業損益は、材料費率の低減及び販管費のコストを抑制したものの減収の影響が大きく、219百万円の営業利益(前年同期比70.4%減)となりました。

②HS(ホーム・サンテーション)事業部門

HS事業部門は、新型コロナウイルス感染拡大により2020年4月に発令された緊急事態宣言時において新規営業を自粛する等、営業活動に多大な影響を受けました。このような環境においても、新規顧客の獲得件数は前年同期比で18.1%増加しております。これは、以前より強化を図ってございました提携企業からの紹介案件が前年同期比で39.9%増加したこと等によるものであります。この結果、売上高は8,658百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加しましたが計画内に収めることで、1,639百万円の営業利益(前年同期比0.4%増)となりました。

③ES(エスタブリッシュメント・サンテーション)事業部門

ES事業部門は、新型コロナウイルス感染拡大により、新規営業活動の自粛や、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との接触が困難になる等厳しい状況にありました。このような環境においても、積極的な人員の増加や関東エリアにおいて2店舗新規出店する等エリア拡大によって、新たな顧客の開拓を行ってまいりました。これにより、既存店の業績が厳しい中でも、新規店舗の売上増加によって主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比14.6%増となりました。この結果、売上高は1,712百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

営業損益は、人員増による人件費等のコストが増加しましたが増収効果により、180百万円の営業利益(前年同期比15.8%増)となりました。

④環境資源開発事業部門

環境資源開発事業部門は、新型コロナウイルス感染拡大による経済活動全般の停滞の影響を受け、廃プラスチック類の受入量は前年同期比7.1%減少しましたが受入物件の精査等により「プラスチック燃料」が前年同期比5.5%増、発電量の増加により「発電所売上」が前年同期比5.5%増となりました。一方、「埋立処理」は前期において震災廃棄物の受入れを行っていたため、その反動により前年同期比19.0%減となりました。この結果、売上高は12,647百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

営業損益は、廃プラスチック類の受入物件の精査等による収益性の向上や苫小牧発電所が前期に定期修繕を行っていることから相対的に修繕費が減少したこと等により、2,998百万円の営業利益(前年同期比29.4%増)となりました。

⑤エネルギー事業部門

エネルギー事業部門は、電力の小売契約件数は低圧契約の伸長が大きく64.9%増加しております。一方、収益性改善のために卸電力取引市場（JEPX）へ販売していた余剰電力を削減するため、相対取引による電力調達量を削減いたしました。これにより、JEPXへの卸売量が減少したため、売上高は6,790百万円（前年同期比4.4%減）となりました。

営業損益は、戸建て住宅を対象とした第三者保有型太陽光発電モデル推進のための営業人員増により人件費等が増加したものの、相対取引による電力調達量の削減により新電力事業の収益性が改善したため28百万円の営業利益（前年同期比180.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は32,689百万円となり、前連結会計年度末比で174百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金が553百万円、原材料及び貯蔵品が512百万円、現金及び預金が220百万円それぞれ減少しましたが、有形固定資産が1,369百万円増加したためであります。

負債合計は24,695百万円となり、前連結会計年度末比で1,762百万円減少しました。主な要因は、短期借入金が1,101百万円、未払法人税等が626百万円それぞれ減少したためであります。

純資産合計は7,994百万円となり、前連結会計年度末比で1,937百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,915百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末18.5%に対し、当第3四半期連結会計期間末は24.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績及び下記要因を踏まえて、本日2021年2月12日付で下記のとおり修正いたしました。

エネルギー事業部門は、冬期の天候要因及びLNG不足等による電力販売量の増加と市場価格の高騰により売上高は1,224百万円増加する見込みであります。一方、営業損益につきましては、電力調達コストが想定以上に増加し433百万円減少し、赤字となる見通しであります。

SE事業部門は、今期から販売を開始しております自家消費向けの販売について、新型コロナウイルス感染拡大の影響等もあり計画通りに進んでいないことから1,744百万円減少する見込みであります。

この結果、連結売上高は前回予想を610百万円下回る見込みであります。

2021年3月期 通期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	49,738	1,940	1,785	1,345	28.14円
今回修正予想 (B)	49,127	1,840	1,610	1,199	25.10円
増減額 (B - A)	△610	△99	△174	△145	—
増減率 (%)	△1.2	△5.1	△9.8	△10.8	—
(ご参考) 前期実績(2020年3月期)	52,531	2,791	2,592	1,850	38.72円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,919	5,699
受取手形及び売掛金	5,453	4,899
商品及び製品	56	39
未成工事支出金	333	307
原材料及び貯蔵品	3,354	2,842
その他	1,362	1,288
貸倒引当金	△202	△212
流動資産合計	16,277	14,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,732	1,676
機械装置及び運搬具（純額）	2,071	2,660
土地	8,053	8,091
その他（純額）	1,882	2,680
有形固定資産合計	13,739	15,109
無形固定資産	450	745
投資その他の資産	2,047	1,969
固定資産合計	16,237	17,824
資産合計	32,514	32,689
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,716	3,234
短期借入金	9,525	8,423
1年内返済予定の長期借入金	928	906
未払金	3,471	3,110
未払法人税等	687	61
賞与引当金	256	125
再資源化費用等引当金	5	11
その他	2,986	3,361
流動負債合計	21,576	19,236
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	262	274
役員退職慰労引当金	9	9
処分場閉鎖費用引当金	637	667
退職給付に係る負債	1,727	1,825
その他	1,744	2,181
固定負債合計	4,881	5,458
負債合計	26,458	24,695

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	1	1
利益剰余金	△6,506	△4,590
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	6,055	7,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	44
為替換算調整勘定	△90	△56
退職給付に係る調整累計額	34	8
その他の包括利益累計額合計	△25	△3
非支配株主持分	26	26
純資産合計	6,056	7,994
負債純資産合計	32,514	32,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	37,893	35,812
売上原価	24,632	22,258
売上総利益	13,260	13,553
販売費及び一般管理費	10,976	11,172
営業利益	2,284	2,381
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	2	2
受取地代家賃	47	47
補助金収入	8	10
その他	34	40
営業外収益合計	105	113
営業外費用		
支払利息	153	155
支払手数料	90	1
為替差損	4	7
固定資産除却損	35	63
その他	17	41
営業外費用合計	302	269
経常利益	2,087	2,224
税金等調整前四半期純利益	2,087	2,224
法人税、住民税及び事業税	477	159
法人税等調整額	83	150
法人税等合計	560	309
四半期純利益	1,526	1,915
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,531	1,915

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,526	1,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	13
為替換算調整勘定	△50	34
退職給付に係る調整額	42	△25
その他の包括利益合計	△18	21
四半期包括利益	1,508	1,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,513	1,937
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	9,869	8,529	1,584	10,805	7,103	37,893	—	37,893
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,488	—	1,488	△1,488	—
計	9,869	8,529	1,584	12,294	7,103	39,381	△1,488	37,893
セグメント利益	741	1,633	155	2,317	10	4,858	△2,574	2,284

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,574百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	SE事業 部門	HS事業 部門	ES事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への 売上高	7,706	8,658	1,712	10,950	6,785	35,812	—	35,812
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	1,696	5	1,702	△1,702	—
計	7,706	8,658	1,712	12,647	6,790	37,514	△1,702	35,812
セグメント利益	219	1,639	180	2,998	28	5,067	△2,686	2,381

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,686百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品目	期別	数量 単位	前第3四半期 連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自2020年4月1日 至2020年12月31日		比較増減	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
太陽光発電システム		kW	59,185	9,581	40,310	7,481	△18,875	△2,100
太陽光発電システム卸販売		—	—	186	—	153	—	△32
その他		—	—	101	—	71	—	△30
S E 事業部門計		—	—	9,869	—	7,706	—	△2,162
白蟻防除施工		千坪	463	2,762	444	2,756	△18	△5
床下・天井裏換気システム		—	—	1,843	—	2,233	—	390
基礎補修・家屋補強工事		軒	3,452	1,388	3,108	1,273	△344	△114
その他		—	—	2,535	—	2,394	—	△141
H S 事業部門計		—	—	8,529	—	8,658	—	128
防錆機器取付施工		本	683	763	803	875	120	111
建物給排水補修施工		—	—	329	—	426	—	97
建物防水塗装補修施工		—	—	213	—	127	—	△85
その他		—	—	278	—	282	—	4
E S 事業部門計		—	—	1,584	—	1,712	—	127
プラスチック燃料		t	219,687	7,484	204,194	7,897	△15,493	412
発電所売上		—	—	2,211	—	2,334	—	122
有機廃液処理		t	81,343	1,473	73,118	1,408	△8,225	△64
埋立処理		—	—	722	—	584	—	△137
その他		—	—	402	—	422	—	20
環境資源開発事業部門計		—	—	12,294	—	12,647	—	353
売電収入		—	—	7,032	—	6,372	—	△659
その他		—	—	71	—	417	—	346
エネルギー事業部門計		—	—	7,103	—	6,790	—	△313
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	△1,488	—	△1,702	—	△213
売上高計		—	—	37,893	—	35,812	—	△2,080